



ロータリー:  
変化をもたらす

2017~2018年度国際ロータリーテーマ

# ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

Rotary



# CHINO



茅野ロータリークラブ活動指針

「ロータリーの奉仕の進化と深化を楽しもう」

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26

2017 - 2018 会長 高見 恭司 幹事 勅使川原 一幸

Vol.26 1732 2018.2.14

## 高見会長挨拶

皆さんこんにちは

今月は、ロータリー設立月間になりました。ロータリー設立は2月23日です。当クラブの柳澤孝男会員の誕生日でもあります。今日は、ロータリーの設立についてお話しようと思います。

時代は1905年2月23日にロータリーは、一人のアメリカ人のビジョンによって始まりました。その人の名は、ポール・ハリスさんで、シカゴで弁護士として働いて、世界初のロータリークラブ(シカゴ・ロータリークラブ)を設立しました。

さまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたり友情を深めることができる場をつくれるか、ハリスさんの夢でした。以来110年以上にわたり、ロータリーの会員は、世界が抱える数々の問題に取り組んできました。今やロータリアンの活動成果によって、ロータリーを知ることになりました。

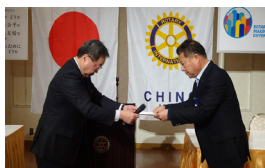
ロータリーには、創設時から現在まで変わらない3つの特徴があります。まずは、ロータリーの「国際性」です。創設後わずか16年の間に、ロータリークラブは6大陸へと広がりました。日本では1920年(大正9年)に初のロータリークラブ(東京ロータリークラブ)が設立されています。今日、現在も世界が直面するさまざまな、諸問題に 대응するために、世界のほぼすべての国と連携をとり活動しています。

2つ目の特徴は「粘り強さ」です。第二次世界大戦中、ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、日本のロータリークラブは、ロータリーからの脱退を余儀なくされました。しかし、これらの国々のロータリアンは、リスクを承知で非公式にミーティングを続けました。戦後、ロータリーに復帰したこれらのクラブは、ロータリーのみならず、国の再建においても大きな役割を果たしました。

最後の特徴は、「奉仕の継続」です。ロータリーは大きな夢を掲げ、常に高い目標を掲げています。1979年、ロータリーは、フィリピンで600万人の子どもたちにポリオの予防接種を行うプロジェクトを開始し、これが世界的なポリオ撲滅活動のきっかけとなりました。野生型ポリオウイルスが存在する国は、1988年の125カ国から、現在はわずか3カ国に減っています。以上がロータリーの特徴になります。ご清聴ありがとうございました。

## ※別紙幹事報告書

## 地区インターアクト委員会委嘱状贈呈



竹村一男会員へ地区インターアクト委員会 委員の委嘱状贈呈



## ニコニコBOX

人数  
27人  
金額  
60,000円

- ◎高見恭司会長 副会長の皆さん卓話よろしくお願ひします。
- ◎小尾幸太郎会員 2月10日長男のところに嫁が来ました。仲良くやっていただきたいです。
- ◎柳澤孝男会員 30年前の今日は大雪でした。雪の降る中で三井の森セミナーが行われ、そこから生まれた「きりん会」が30周年になります。
- ◎五味徳雄会員 無事今年の寒天製造終了しました。天候に恵まれた年でした。
- ◎竹村一男会員 週末、小平奈緒選手の応援に行ってきます。金メダル目指して全力で応援してきます。

卓話

「高齢者運転免許の返還に関して」

原田和郎副会長



今日は私の外来に通った81歳男性Aさんの話をします。元気に外来に通った頃は来院時ふわふわしているの聞いてみるとお酒飲んでとのこと、一応注意はしておきました。本人の日常は、自宅では痴呆症の妻の介護をし、朝から3町歩以上の田畑を耕し、昼からは焼酎を飲んで昼寝、夜8時には寝てしまうとのこと。息子夫婦は共働きで農業は手伝えず、一人でやりながらもそれに充実し、外来でも面白い話をしてくれました。

しかし、あるときから来院が途絶え、4ヶ月後の来院には全身ぼろぼろで、話では息子の説得で自分の免許を返還してしまい、畑仕事もできず病院通いもできなくなったとのことでした。しばらくすると老人施設に入所となり、往診時来たときには受け答えもできず、廃人同然で、その後胃瘻を作ったため他施設転院となったということでした。

ここで問題なのは、運転免許の返還が全ての生き甲斐を奪ってしまったこと。息子がマスコミの報道に躍らされて、父から免許を取り上げてしまい、結果人生を失ってしまったこと。高齢者の事故が盛んにニュースになり、免許返還を美談として報道していますが、本当に老人の交通事故率が高いのから初めて、全部の報道が真実かどうかチェックする必要があると思います。

卓話

「最近興味のある自動車技術と通信技術について」

加藤宏治副会長



今後、自動車の世界では電器モーターによる駆動が主流になり、ブレーキはアクセルペダルから足を離すことによって減速が生じるワンペダルドライブが主流になると思われる。

今後のブレーキとしては、磁性液体ブレーキが目される。従来型のブレーキと比べ、数々の利点が見られる。安全性などにおいてアドバンテージをもつ。

通信速度は、2020年ごろには4Gから5Gへ移行すると思われる。通信速度は体感で、100倍、1ミリ秒以下のタイムラグ、同時接続数の大幅な増加が見込まれる。

Wi-FiからLi-Fiへ。メリットは通信速度が速く、消費電力が少ない。LEDを使うのでセキュリティ面で強い。電波障害を気にしないで使える等。

## 出席報告

会員数 56名  
出席 44名  
出席率 78%